

まちづくり市民意見交換会

＼上越市の未来を一緒に考えませんか／



もっと暮らしやすいまちにするには、
何ができるかな？



まちの気になることや将来について、
話してみたいな…



まちづくりの指針である「上越市第7次総合計画」(令和5年度～12年度)の後期(令和9年度～12年度)の取組をまとめた「後期基本計画」を策定するため、市民の皆さんに市の現状や課題などをお伝えするとともに、今後の取組について話し合うための意見交換会を開催します。

内 容

◆話題提供「上越市の現状と課題について」

◆グループトーク

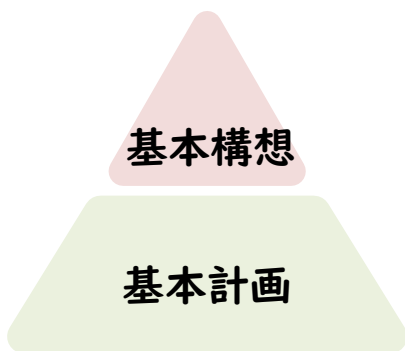
4～5人程度のグループに分かれて、「暮らしやすく、希望あふれるまち」の実現に向け、まちの魅力向上や課題解決に向けた意見交換を行います。



令和5（2023）年度から
第7次総合計画による
まちづくりをスタート

1. 行政、市民、事業者、団体などが共有する
まちの将来ビジョン＝まちづくりの羅針盤
2. 行政として果たすべき役割の遂行
（市政運営の進捗管理）

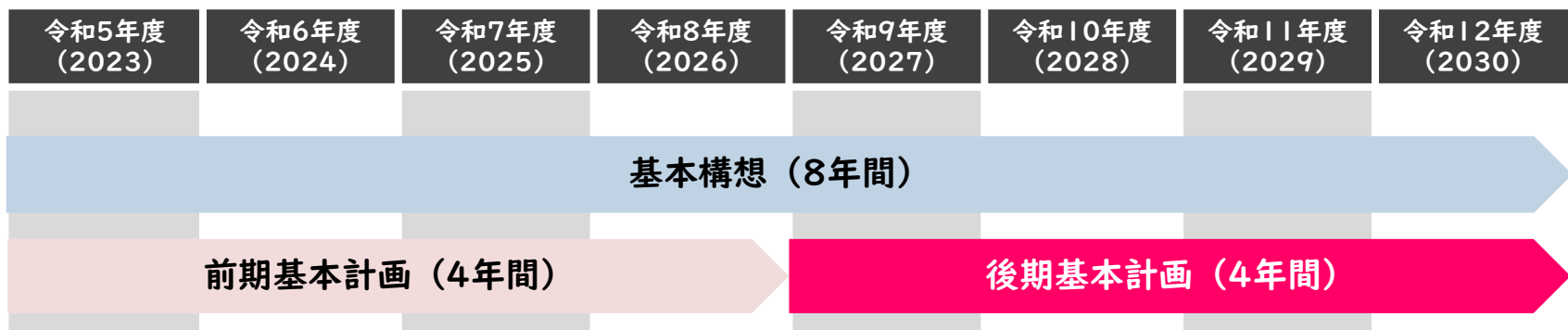
3.計画構成

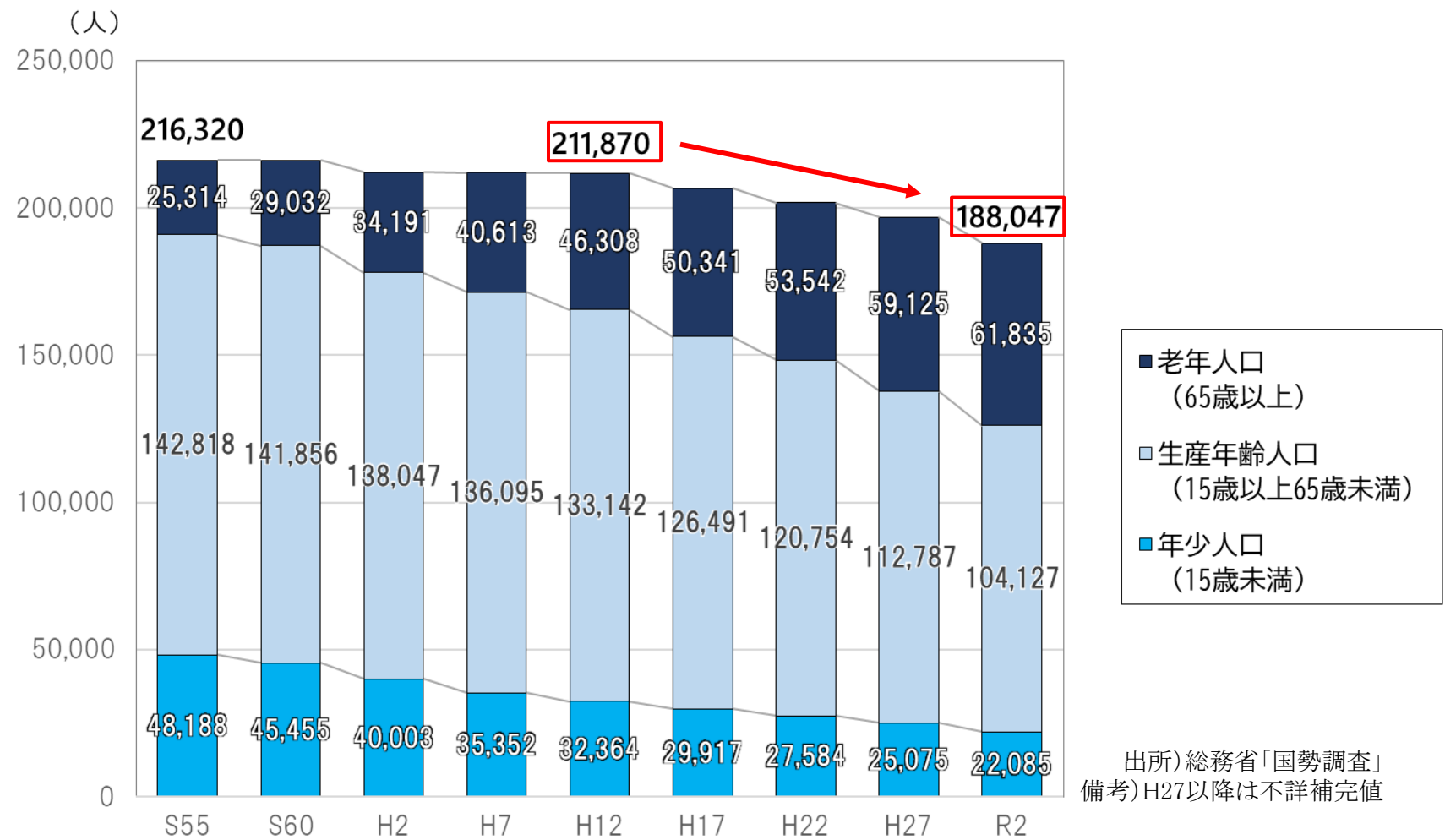


構成	項目	内容
基本構想	基本理念	長期的な視点を踏まえた、まちづくりの根本に据える理念、目標
	将来都市像	市政運営により目指す、8年後のまちの姿
	将来都市像の実現に向けて	将来都市像の実現を目指す上での、基本目標とその目標達成に向けた政策の方針など
	土地利用構想	将来都市像を実現するための土地利用の基本的な考え方
基本計画	基本目標別施策	それぞれの基本目標に基づく政策を具体化していくための取組の方向性
	重点テーマ	直面する重要課題に対して、横断的かつ重点的に取り組む政策テーマ
	計画の推進に当たって	計画の推進に当たり、大切にする視点など

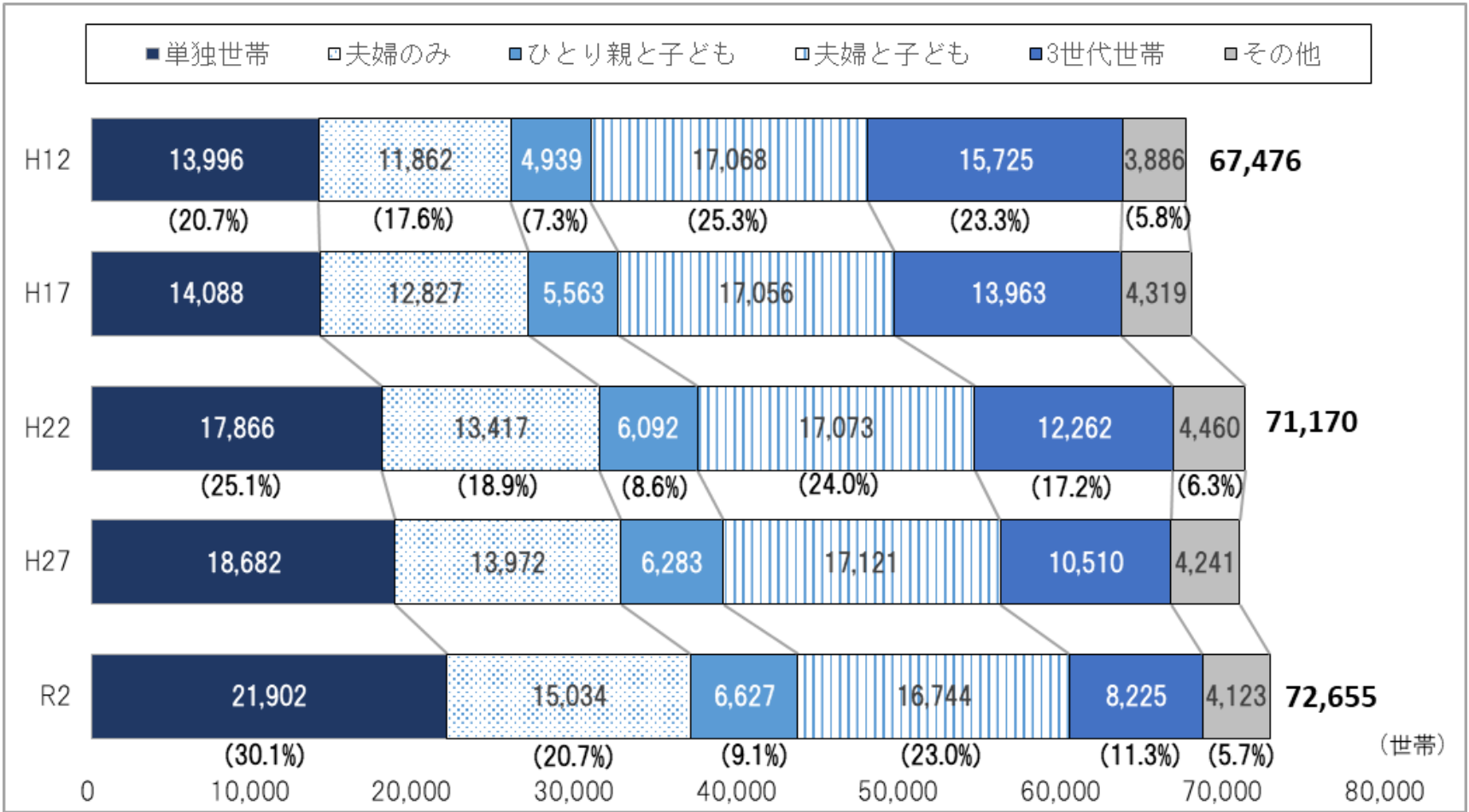
今回
改定

4.計画期間



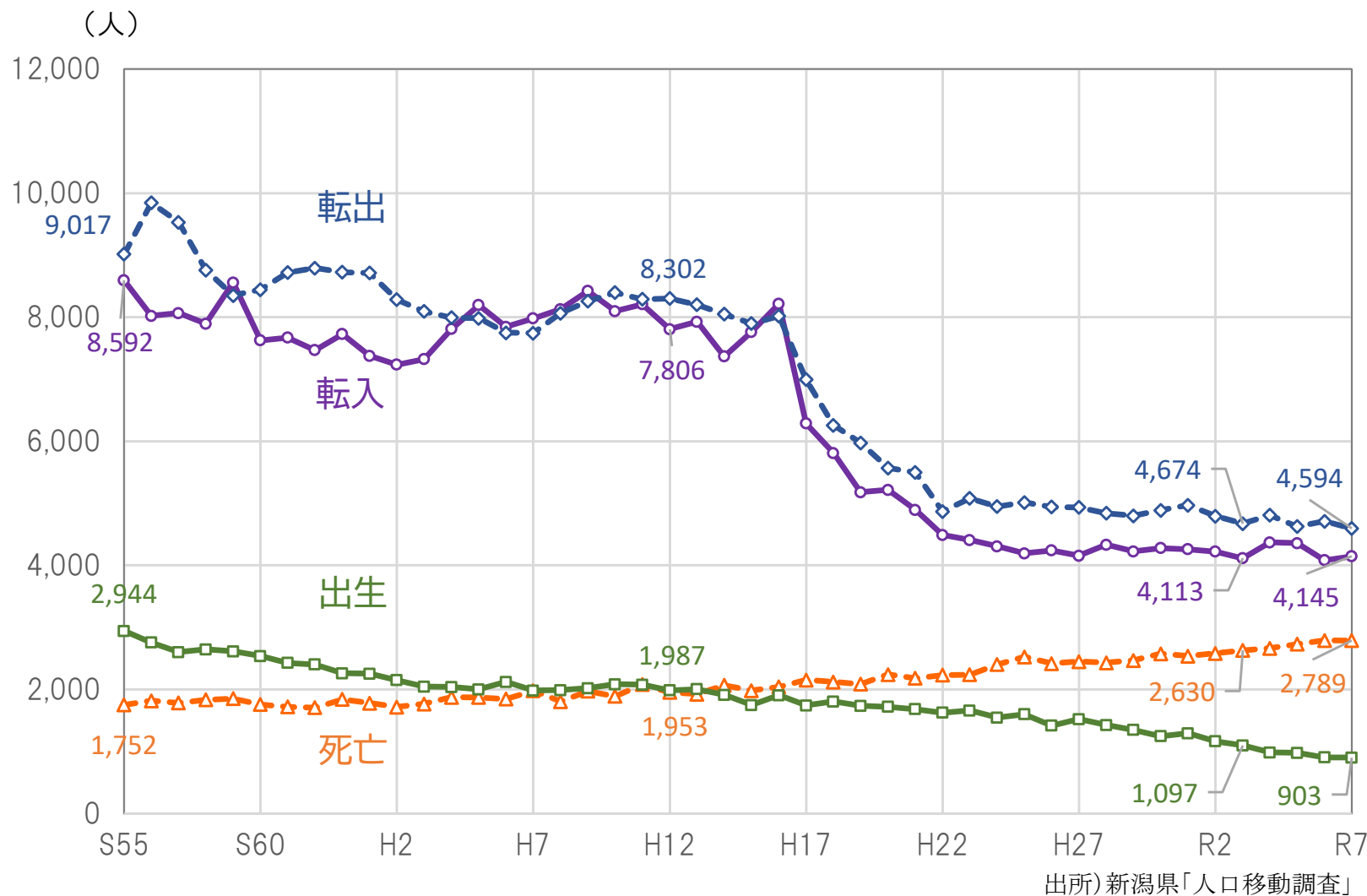


上越市の総人口は20年間で1割減少
少子化・高齢化が同時に進む



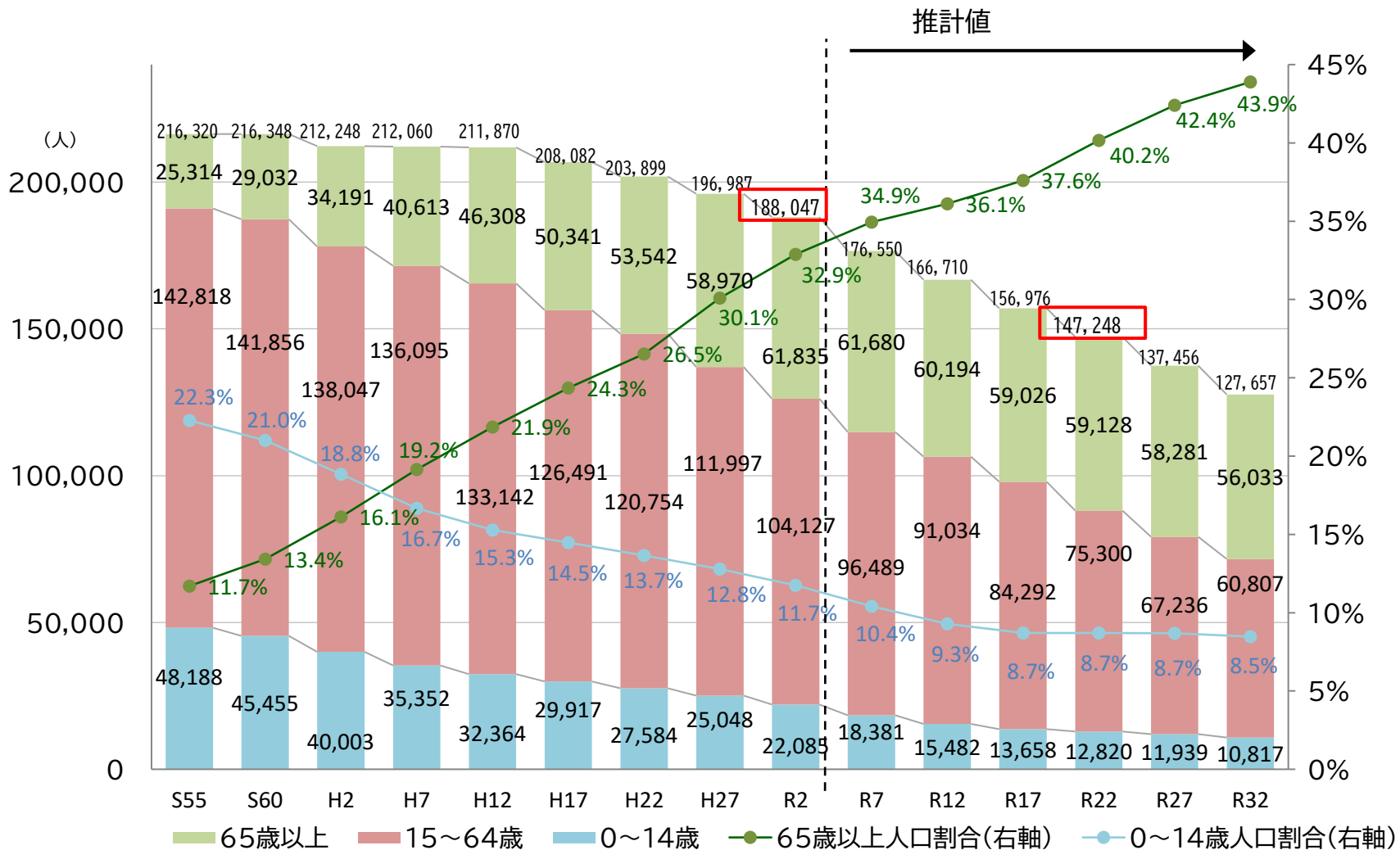
出所)総務省「国勢調査」

人口減でも世帯数は増加傾向で推移
単身化・核家族化が進行



平成13年に死亡が出生を上回り、以降その差は拡大傾向

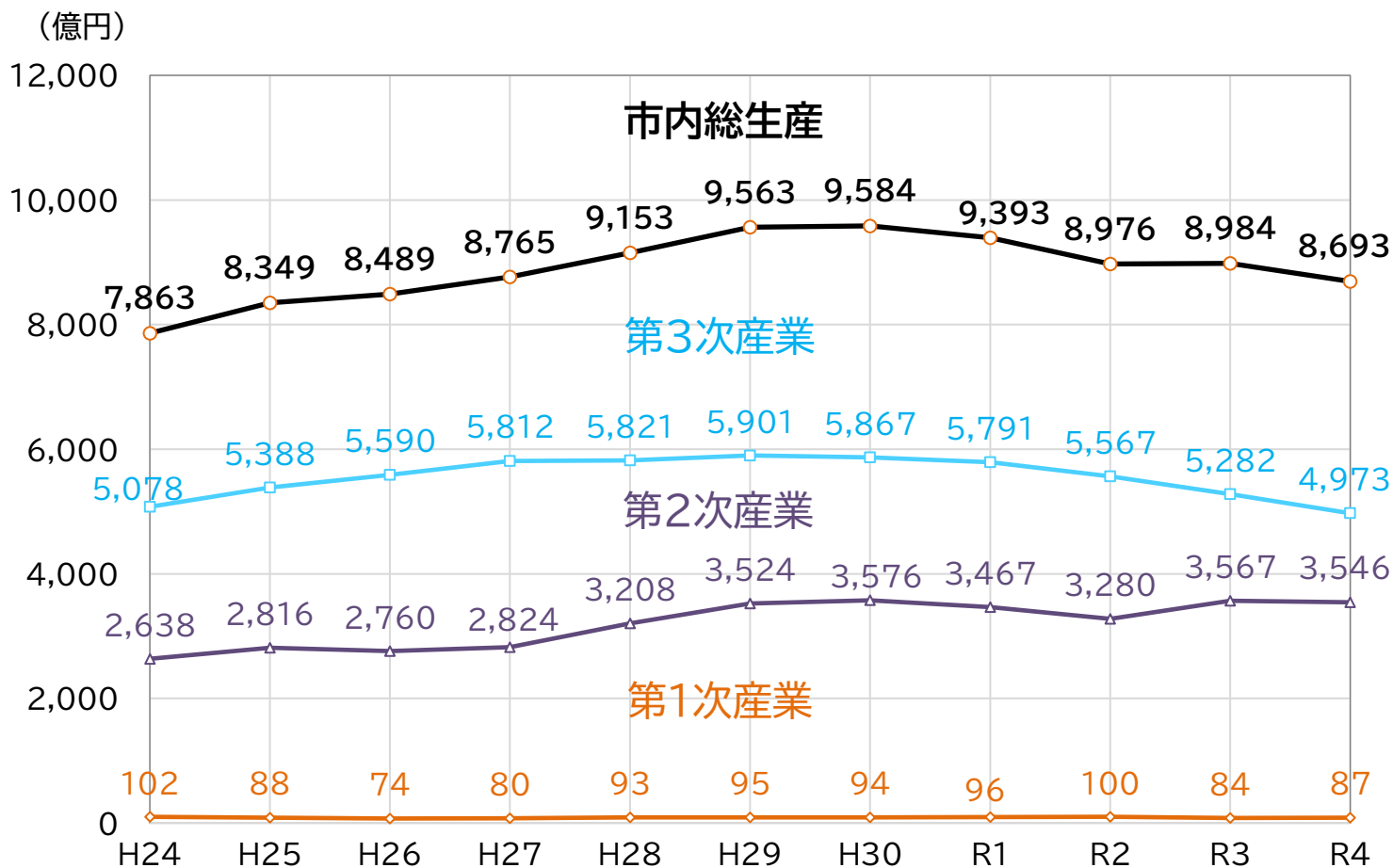
一時的な経済状況の変化による例外を除き、転出が転入を上回る状況が継続



出典:総務省「国勢調査」及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(令和 5年12月推計)により作成
備考:H27以降は不詳補完値

令和32年には約12万8千人（人口減少率32.1%）まで減少する見込み
高齢化率は上昇が続く

上越市の産業別市内総生産の推移



資料:新潟県「市町村民経済計算」

備考:市内総生産:市内の生産活動から生み出された付加価値(産出額(出荷額、売上額等)から中間投入額(原材料や光熱費等)を差し引いた付加価値の部分)

近年は、第2次産業が堅調に推移

第3次産業全体が減少傾向にあることを受け、市内総生産全体も減少

I 生活実態・実感

○**実感**の高い・低い項目（上位3・下位3）

順位	項目	割合（※）
1	自然が豊かである	93.1%
2	治安がよい	90.7%
3	海や山の幸に恵まれ、食や特産物が豊富である	85.8%
⋮		
24	バスや鉄道などの生活基盤が整っている	23.0%
25	市外からの来訪者との交流の機会が多い	12.4%
26	観光PRが盛んで観光客が多い	10.5%

※「そう感じる」、「ある程度感じる」の合計

2 市の取組に対する満足度・重要度

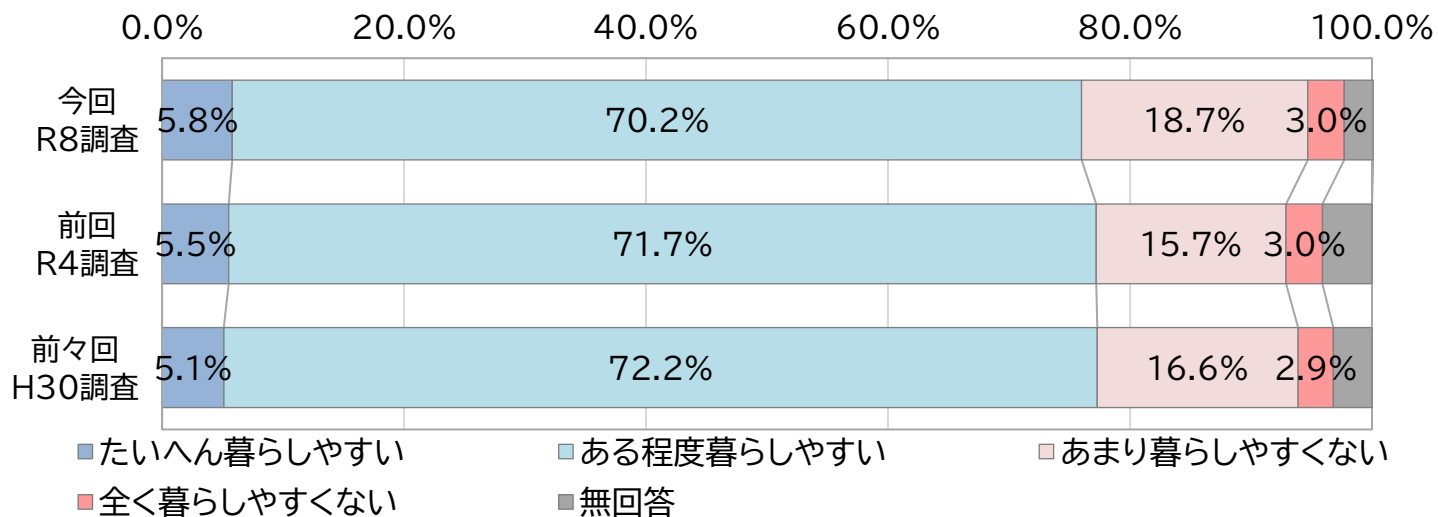
○**満足度**の高い・低い項目（上位3・下位3）

順位	項目
1	水道水の供給
2	生活排水の処理対策
3	ごみの減量とリサイクル
⋮	
62	商業の振興
63	上越妙高駅周辺の活性化
64	公共交通の利便性向上

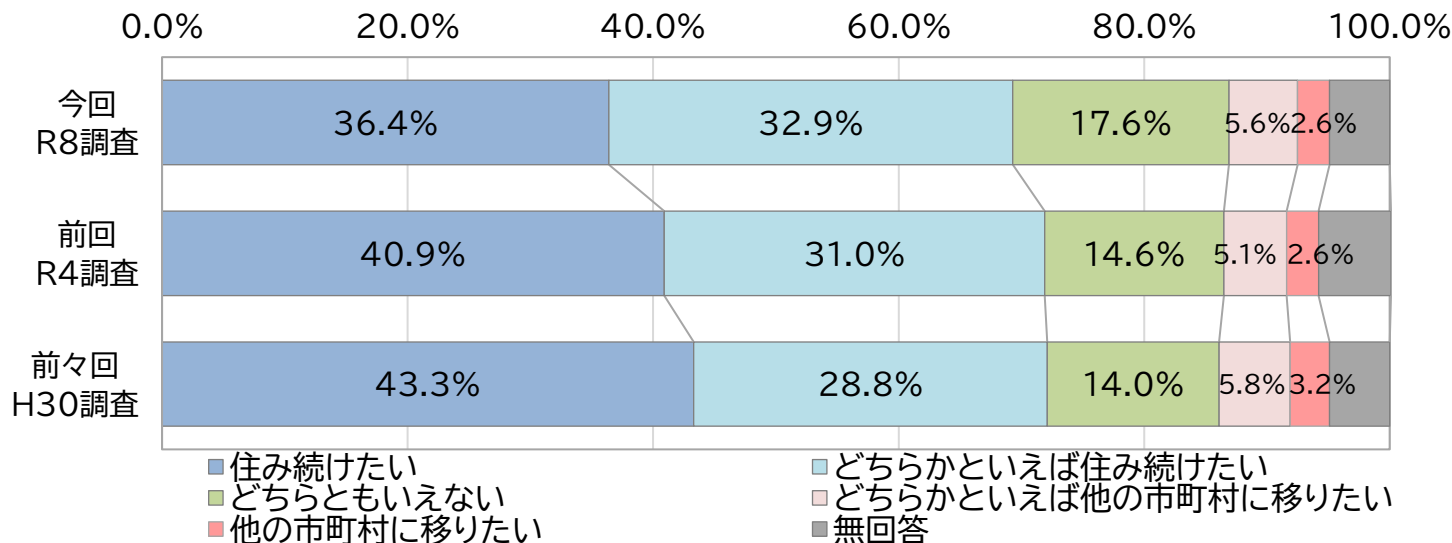
○**重要度**の高い・低い項目（上位3・下位3）

順位	項目
1	防災対策
2	雪対策
3	医療体制の充実
⋮	
62	市民参画のまちづくり
63	国際的な文化交流の推進
64	外国人を含めた共生社会の推進

3 暮らしやすさ



4 居住の意向



基本目標Ⅰ 支え合い、生き生きと暮らせるまち

■主な取組

- 各種予防接種や健康診査、人間ドックなどの受診しやすい環境づくり
- 県や医療機関と連携した医師の確保、看護職員を目指す学生の支援
- 生活に困っていたり、悩みを抱えたりする家庭の相談や経済的な支援
- 保健指導等による介護予防の取組や、高齢者の就労や趣味活動など生きがい・出番づくり



市立診療所での診察



地域支え合い事業の介護予防教室

■主な課題

- 自らの健康状態を理解し、生活習慣の改善の必要性に気づき、自主的に改善に取り組むよう促す必要がある。
- 看護を学ぶ人の減少に伴い、地域内の病院の看護職員確保が困難になる恐れがある。
- 核家族化の増加等により、家庭内での支え合いが困難な家庭が増加している。
- 福祉・介護業界における人材が不足している。

基本目標2 安心安全、快適で開かれたまち

■主な取組

- ・ 自主防災組織による実践的な訓練や地域の防災リーダーとなる防災士の養成・育成
- ・ 消防団員の確保や消防団の再編など地域の消防力の確保に向けた取組の推進
- ・ 高齢者の通院や買い物、高校生の通学など利用しやすい公共交通ネットワークの構築
- ・ 緩衝帯の整備など大型野生動物が出没しにくい環境づくり



自主防災組織における
ワークショップ



予約型コミュニティバスの運行（安塚区）

■主な課題

- ・ 高齢化の進行により、地域の防災活動の担い手が不足している。
- ・ 人口減少や高齢化に伴い、消防団員が減少している。
- ・ 地域公共交通の利用者の減少に加え、運転手不足が深刻化するなど、路線の維持・確保が困難になっている。
- ・ クマ等の大型鳥獣の出没増加や人身被害の発生を受け、捕獲や出沒抑制の対策が必要になっている。

基本目標3 誰もが活躍できるまち

■ 主な取組

- 外国人市民の相談対応等の生活支援や多文化共生社会の実現に向けた交流
- 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動や女性活躍を促進する取組
- 地域おこし協力隊など人材の誘致・育成や地域の主体的な活動を支援
- 中山間地域へのボランティア派遣や集落づくり推進員による集落巡回・課題解決



外国人市民と小学生の交流



地元の方と話し合う集落づくり推進員
(板倉区)

■ 主な課題

- 近年増加している外国人市民が安心して暮らせる環境を整備する必要がある。
- 依然として性別的役割分担意識などが根強く残っている。
- 町内会を始めとする地域活動の担い手が不足しているほか、地域内のつながりが希薄化している。
- 中山間地域において、課題の解決や行事の開催が困難な集落が増加している。

基本目標4 魅力と活力があふれるまち

■ 主な取組

- ・ 商店街や商工団体の取組への支援や市内中小企業等のDXの推進、資金調達環境の整備
- ・ 企業見学会やインターンシップ等を通じた地元企業の情報発信
- ・ 各地域が有する歴史や文化をいかした当市ならではの観光地域づくり
- ・ 新規就農者確保に向けた就農イベントや農業体験など当市の魅力ある農業と暮らしの情報発信



高校生の企業見学会



就農イベントの様子

■ 主な課題

- ・ 人手不足や人件費高騰などの影響から、市内中小企業者等の廃業・倒産が目立ち始めている。
- ・ 就職を希望する高校生は地元志向が高い一方で、市内企業の情報が十分認知されていない。
- ・ 二次交通や多言語化など、今後増加が期待されるインバウンドを含む観光需要への対応が必要である。
- ・ 人口減少や高齢化等により、特に中山間地域における農業の担い手が不足している。

基本目標5 次代を担うひとを育むまち

■主な取組

- ・ 児童と保護者が交流する場の創出や子育てについての相談・情報提供
- ・ 保育士の確保や環境整備、延長保育や病児保育など多様な保育サービスの提供
- ・ いじめや不登校に悩む児童・生徒や保護者などへのカウンセリングや教育相談などの支援
- ・ 地域資源や人材を生かした魅力ある体験活動や公民館等での講座など生涯学習環境を整備



オーレンプラザこどもセンター



地域支え合い事業の介護予防教室

■主な課題

- ・ 家族から育児支援を受けられない家庭や、子育ての悩みを抱える家庭が増加している。
- ・ 特別な配慮が必要な児童が増加傾向にあるが、支援に必要な保育士の確保が困難になっている。
- ・ 不登校や特別な支援を要する児童生徒が増加している。
- ・ 多様化する市民の学びの関心への対応のほか、生涯学習団体等の高齢化や担い手が不足している。

全施策で共通する変化や課題

- ・ 地域や団体等の担い手・人材不足
- ・ 地域コミュニティ力の低下
- ・ 物価や人件費等の高騰
- ・ 働き方やライフスタイル等の多様化（リモートワークの普及、核家族化 等）
- ・ 外国人の受け入れ（外国人市民（人材）、インバウンド 等）
- ・ デジタル化の進展



第7次総合計画後期基本計画策定に向けた視点

- ・ 担い手不足や支え合い体制の弱体化、市内経済の縮小など、人口減少・少子高齢化の影響の深刻化への対応
- ・ 自然災害など、市民生活や事業活動を脅かすリスクの増加・多様化への対応
- ・ ライフスタイル・価値観の多様化への対応
- ・ インフラの老朽化への対応
- ・ 地域課題の解決や行政サービスのデジタル化

＼上越市の未来を一緒に考えませんか／

- ・ 「暮らしやすく、希望あふれるまち 上越」に向かって、どんな取組をしていけば良いと思いますか。
- （１） 日ごろから感じている上越市の課題は何ですか？
- （２） 将来、不安に感じることや心配に思うことはありますか？
- （３） これから必要な取組は、何だと思いますか？



＼有意義な場とするために・・・／

- 簡単に自己紹介した後は、他の人の話を聞くことに徹するのもOKです。
- 話される内容は、個人として感じていること、思っていることなど、どんなことでも結構です。
- 実現できるかどうかはわからないけど、そうなるといいなと思うことも、大いに歓迎します！